

# 千葉県立鶴舞看護専門学校 学校関係者評価実施報告

千葉県立鶴舞看護専門学校では、「令和元年度自己点検・自己評価結果概要」をもとに、学校関係者評価を実施したので、以下のとおり報告します。

## 1 実施年月日

令和元年12月19日（木）午後2時～3時40分

## 2 学校関係者評価会議出席者

近隣教育機関、近隣保健医療施設、実習施設、有識者（非常勤講師）、看護職能団体、卒業生に出席を依頼しました。

## 3 実施内容

事業概要、自己点検評価の結果説明、今年度の取り組みを報告し、質疑応答や意見交換を行いました。

《今年度の取り組み》

- ① カリキュラム改正を見据え、教育目標・卒業時の到達目標の見直しを図る。
- ② 受験生の量と質を確保するための対策を多角的に取り組む。
- ③ 授業準備のための時間をとれる体制整備のため、対策を検討する。

## 4 学校関係者評価・意見

大項目ごとの評価は、適切あるいはほぼ適切との評価をいただきました。

主なご意見は以下のとおりです。

大項目	主なご意見等
I 教育理念・教育目的	・実習生を見ている限り、人材として成長していると思うので適切である。
II 教育目標	・他校との違い、鶴舞看護のよさをアピールできるとよい。
III 教育課程	・コミュニケーション能力が低い学生が多いと聞いている。社会背景も影響していると考えられるが、カリキュラム改正も含め、教育を通じて卒業までに少しでも改善できるとよい。 ・地道に努力している成果がみられていると思う。 ・目標に向けての指導方法と評価を一体化することで学生は学習意欲を向上させるとともに、教員の考えい方等の振り返りにもなるので、評価の工夫を大切にしてください。
IV 教育活動	(記載なし)
V 経営管理	・入学希望者の増加は素晴らしい成果だ。 ・たくさんの学生が入学できるよう環境を整えてほしい。
VI 入学	・学生募集の苦勞がよくわかった。一人でも多くの学生が入学させていただけるよう努める。
VII 卒業・就業・進学	・学校の評価は現場で決まると思う。 ・里帰りディは大変良い。

VIII 地域社会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・同じ地域にある学校としてこれからも連携を密にしていきたい。</li> <li>・一緒に活動する機会を増やせるよう我々も考えたい。</li> </ul>
IX 研究	<ul style="list-style-type: none"> <li>・看護学校という学校種では最も大切にしなければならないと思う。</li> <li>・今回のような評価をまとめて学会で発表したらよい。</li> </ul>
自由なご意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・メンタルでつぶれる新人が多いため心の丈夫な、人間性を鍛えてほしい。</li> <li>・朝学習の成果が就職後も活かせるよう職場でも考えてみたい。</li> <li>・こちらで教え始めて6年くらいになる。朝学習の効果や「看護とはどういうものか」を教えることによって学ぶ意識もできるのだと思う。最近よくなってきている印象がある。</li> <li>・鶴舞の卒業生のよいところは「知りたい、学びたい」ということがあれば自分で調べる癖がついているように思う。学習習慣は大事で、知ることの楽しさを知ればもっと知りたいと欲が出てくる。先生方の努力が実を結んでいると思う。</li> <li>・3年間で学んだことは基礎として生きてくる。基礎があれば臨床で伸びてくる。理念の中にもあるが、人間性を育て、伸ばして行ってほしい。</li> <li>・働き方改革が言われている中、「教員が授業準備のための時間をとれる体制を整えている」の評価が低い。授業準備だけでなくプライベートも含め課題としてほしい。</li> </ul>

## 5 終わりに

今後も、学校関係者評価会議を継続して開催し、学校外部からの評価をいただく機会を設けながら、学校活動全般に関する質の向上を図ってまいります。